



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月14日

上場会社名 株式会社 クリップコーポレーション
コード番号 4705 URL <https://www.clip-cor.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 井上憲氏
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部マネージャー (氏名) 岡田高志
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 052-732-5200

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	2,220	3.3	8	89.9	14	84.9	26	
2023年3月期第3四半期	2,149	6.0	88	48.6	97	46.1	51	55.8

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 20百万円 (2.0%) 2023年3月期第3四半期 20百万円 (82.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	7.32	
2023年3月期第3四半期	14.11	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	5,753	4,963	86.3
2023年3月期	5,781	5,109	88.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 4,963百万円 2023年3月期 5,109百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		45.00	45.00
2024年3月期(予想)				45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,221	9.8	267	52.2	273	49.1	166	56.2	45.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	4,536,000 株	2023年3月期	4,536,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2024年3月期3Q	859,612 株	2023年3月期	859,612 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期3Q	3,676,388 株	2023年3月期3Q	3,676,388 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業務見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に移行し、経済活動の正常化が進んだものの、不安定な国際情勢や円安を背景に、エネルギーコストや原材料価格の高騰の影響など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

学習塾業界におきましては、少子化の影響で市場の停滞が続くなか、新しい仕組みづくりが求められております。

こうしたなか、当社グループにおきましては、主力である教育事業及びスポーツ事業において、顧客の信頼・信用を得て、サービスを継続・発展させることに尽力しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高22億20百万円(前年同期比70百万円増)となりました。

利益面につきましては、営業利益8百万円(前年同期比79百万円減)、経常利益14百万円(前年同期比83百万円減)、親会社株主に帰属する四半期純損失26百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益51百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(教育事業)

子会社である株式会社螢雪ゼミナールと有限会社アクシス及び株式会社セア教育研究所を含む当第3四半期連結累計期間の平均生徒数は6,248名(前年同期比3.0%増)となり、売上高は17億1百万円(前年同期比18百万円増)、セグメント利益は54百万円(前年同期比62百万円減)となりました。

(スポーツ事業)

当第3四半期連結累計期間の平均生徒数は4,078名(前年同期比8.5%減)となり、売上高は2億31百万円(前年同期比20百万円減)、セグメント利益は11百万円(前年同期比3百万円減)となりました。

(飲食事業)

添加物・保存料を使用しない弁当の宅配事業を展開しており、当第3四半期連結累計期間の売上高は1億29百万円(前年同期比3百万円減)、セグメント損失は36百万円(前年同期はセグメント損失30百万円)となりました。

(その他)

バスケット教室事業・農業事業・不動産事業等を行っており、当第3四半期連結累計期間の売上高は1億59百万円(前年同期比76百万円増)、セグメント損失は20百万円(前年同期はセグメント損失11百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産合計は37億1百万円(前連結会計年度末比41百万円減)となりました。

これは主に、現金及び預金が2億26百万円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産合計は20億51百万円(前連結会計年度末比13百万円増)となりました。

これは主に、有形固定資産が2百万円減少したことと投資その他の資産が18百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債合計は5億92百万円(前連結会計年度末比1億18百万円増)となりました。

これは主に、短期借入金が増加し、流動負債その他が87百万円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債合計は1億97百万円(前連結会計年度末比2百万円減)となりました。

これは主に、退職給付に係る負債が増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は49億63百万円(前連結会計年度末比1億45百万円減)となりました。

これは主に、配当金の支払い等により利益剰余金が1億92百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期において、主力事業である教育事業の平均生徒数実績が、予想比238名減(3.7%減)と予想を下回る水準で推移しております。スポーツ事業の平均生徒数実績も、予想比367名減(8.3%減)と予想を下回っております。

通期の連結業績予想につきましては、重要な後発事象の影響も踏まえて、業績予想の修正が必要と判断される場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,399,770	3,173,138
受取手形及び売掛金	12,359	14,746
商品及び製品	233,588	256,612
原材料及び貯蔵品	11,333	6,194
その他	86,491	251,132
流動資産合計	3,743,542	3,701,825
固定資産		
有形固定資産	323,514	320,823
無形固定資産		
のれん	68,364	57,989
その他	29,693	37,372
無形固定資産合計	98,057	95,362
投資その他の資産		
投資有価証券	1,125,161	1,161,659
その他	491,637	473,623
投資その他の資産合計	1,616,798	1,635,282
固定資産合計	2,038,370	2,051,468
資産合計	5,781,913	5,753,293
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,358	18,682
短期借入金	140,000	170,000
1年内返済予定の長期借入金	10,008	10,008
未払法人税等	15,420	18,957
賞与引当金	41,024	37,953
店舗閉鎖損失引当金	-	6,000
その他	242,739	330,727
流動負債合計	473,550	592,328
固定負債		
長期借入金	39,992	32,486
退職給付に係る負債	107,672	111,903
資産除去債務	23,390	25,226
その他	28,127	27,411
固定負債合計	199,182	197,027
負債合計	672,732	789,356

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	212,700	212,700
資本剰余金	29,700	29,700
利益剰余金	5,700,625	5,508,276
自己株式	△736,402	△736,402
株主資本合計	5,206,622	5,014,273
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△117,287	△70,193
為替換算調整勘定	19,846	19,856
その他の包括利益累計額合計	△97,441	△50,336
純資産合計	5,109,181	4,963,937
負債純資産合計	5,781,913	5,753,293

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	2,149,413	2,220,094
売上原価	1,488,784	1,620,935
売上総利益	660,628	599,159
販売費及び一般管理費	571,750	590,198
営業利益	88,878	8,960
営業外収益		
受取利息	1,116	1,076
受取配当金	10,676	10,437
持分法による投資利益	1,073	-
受取手数料	269	3,466
受取賃貸料	1,220	1,188
その他	3,307	3,519
営業外収益合計	17,662	19,686
営業外費用		
支払利息	1,432	1,754
支払手数料	2,750	2,786
持分法による投資損失	-	3,624
投資有価証券評価損	4,366	5,340
その他	83	386
営業外費用合計	8,631	13,891
経常利益	97,908	14,756
特別利益		
固定資産売却益	41	-
特別利益合計	41	-
特別損失		
固定資産売却損	24	-
固定資産除却損	900	-
減損損失	2,867	12,362
店舗閉鎖損失引当金繰入額	-	6,000
特別損失合計	3,792	18,362
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	94,157	△3,606
法人税等	42,296	23,304
四半期純利益又は四半期純損失(△)	51,861	△26,911
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	51,861	△26,911

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	51,861	△26,911
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32,699	47,094
為替換算調整勘定	1,448	10
その他の包括利益合計	△31,251	47,104
四半期包括利益	20,610	20,193
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,610	20,193
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益（損失）に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注)1 (千円)	合計 (千円)	調整額 (注)2 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3 (千円)
	教育事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客に 対する売上高	1,683,651	252,016	133,490	2,069,158	80,254	2,149,413	—	2,149,413
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	1,941	1,941	△1,941	—
計	1,683,651	252,016	133,490	2,069,158	82,196	2,151,354	△1,941	2,149,413
セグメント利益又 は損失(△)	116,775	14,641	△30,683	100,732	△11,854	88,878	—	88,878

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バスケット教室事業・農業事業・不動産事業等を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引の消去であります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「教育事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては2,515千円であります。

「飲食事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては352千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「教育事業」セグメントにおいて、子会社螢雪ゼミナールで学習塾の営業権を取得したことに伴い、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては5,810千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注)1 (千円)	合計 (千円)	調整額 (注)2 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3 (千円)
	教育事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客に 対する売上高	1,701,991	231,742	129,686	2,063,420	156,673	2,220,094	—	2,220,094
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	2,510	2,510	△2,510	—
計	1,701,991	231,742	129,686	2,063,420	159,184	2,222,605	△2,510	2,220,094
セグメント利益又 は損失(△)	54,716	11,240	△36,541	29,416	△20,455	8,960	—	8,960

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バスケット教室事業・農業事業・不動産事業等を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引の消去であります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「教育事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては12,362千円であります。

(重要な後発事象)

(保険金の受け取り)

2024年1月3日に、当社代表取締役常務であった高山俊昭が逝去いたしました。同氏に付保しておりました生命保険金の給付が2024年1月31日に確定し、これにより、受取保険金121,692千円を特別利益として計上いたします。

(事業の譲受)

当社の連結子会社である㈱螢雪ゼミナールは、2023年12月1日に㈱クローバーが営む学習塾事業の譲受に関する契約を締結し、2023年12月1日付で事業を譲り受けております。

(1) 事業譲受の概要

① 事業譲渡会社の名称及びその事業の内容

事業譲渡会社の名称 ㈱クローバー

事業の内容 学習塾の運営

② 事業譲受を行った主な理由

教育事業の規模の拡大を図り、教育事業の競争力を高めるため。

③ 事業譲受日

2023年12月1日

④ 事業譲受の法的形式

現金を対価とする事業譲受

(2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	120,000千円
取得原価		120,000千円

(3) 発生するのれんの金額、発生原因、償却の方法及び償却期間
現時点では確定しておりません。

(4) 事業譲受日に受け入れる資産・負債の主な内訳
現時点では確定しておりません。